

編輯局報情
ンセ十・號十六百第・日九十月三

寫眞週報

木の芽の春に
食料増産總がかり



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

實果ぶ結に榮共の亞東



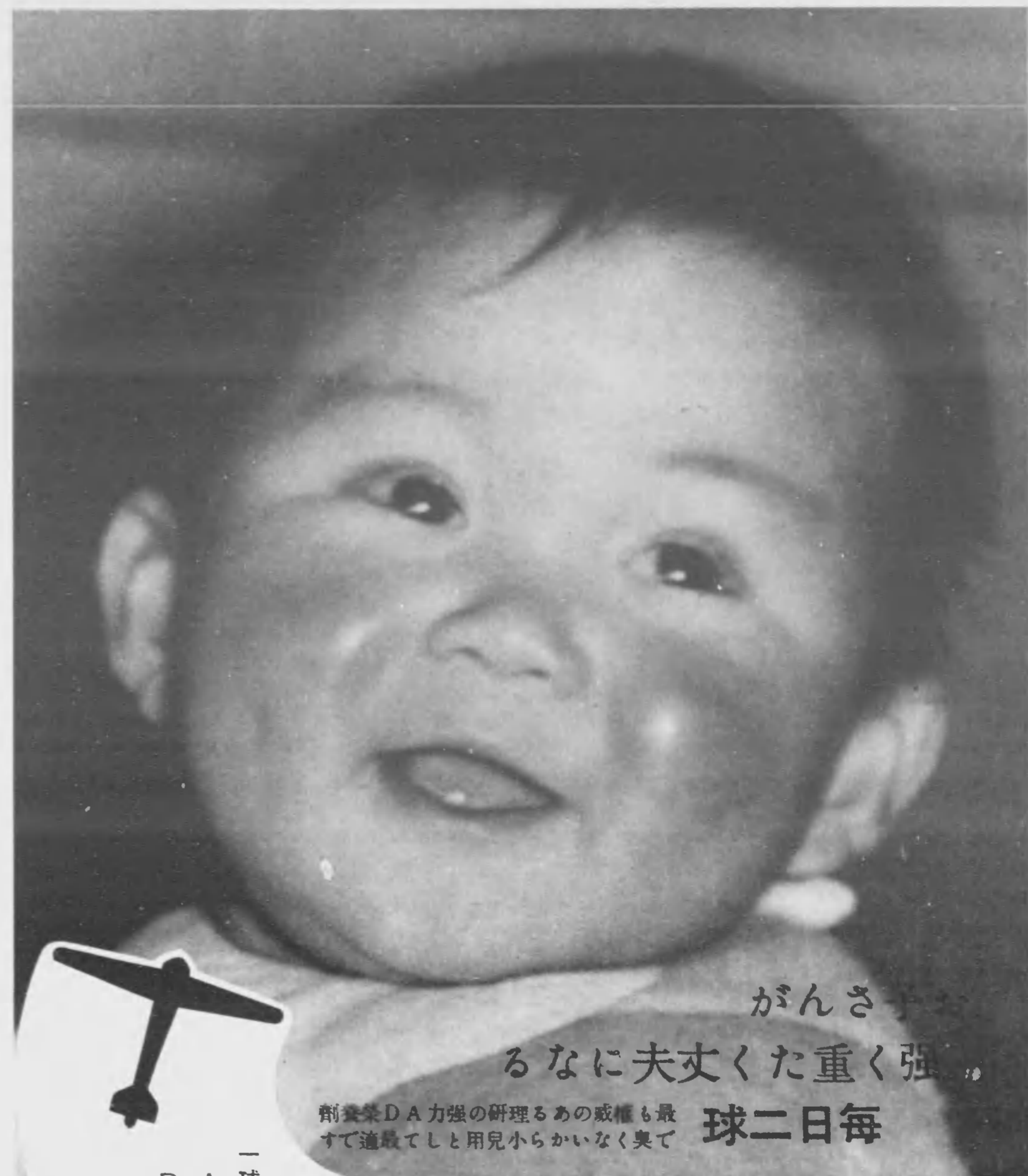
タイ・佛印調停の署名を終る

タイ・佛印國境紛争調停會議は三月十日に至つて日・タイ・佛印三國間に完全なる諒解が成立し、三月十一日午後四時内閣總理大臣官舎で日・タイ・佛三國代表の公式最終會議を開催、三國間の重要公文の交換、わが調停條項確認の署名を完了、圓滿裡にこの歴史的會議の終止符は打たれた。

二月七日東京に第一回公式調停會議を開いて以來正に三十三日目であつて、この期間にこのやうな難事業が成就されたことは、實に帝國外交の劃期的勝利として特記されねばならない。更にこの調停會議の圓滿成立によつて大東亞の安定が確保され、共榮圈樹立に輝かしい前途の刻まれたことは一億同胞の慶賀に堪へないところであるが、大東亞の指導國家として帝國の責務が倍加されたことも齊しく痛感されねばならない。

↑ 總務調停に關かぬ終止符を打つ調停條項確認の署名

↑ 國境もわたかまらずに握手を繰り返してつくり出す外交の瞬間



がんさ
るなに夫丈くた重く強
劑養榮DA力強の研理るあの威權も最
すて適最てしと用兒小らかいなく奥て **球二日毎**

領受賞院士學國帝 許特法製・國ケ一十界世

ンニタビ 理研
球

一球の力價
A 五千國際單位
D 一千國際單位

二圓
五圓半
十圓

店商置玉 社會式株 店理代總



撮影 鈴木 實

まひるの陽をうけて開墾の跡が光る。國に蓋す青年たちの歌びにこたへるやうに富士も今日はいくつきりと日本晴れだ



富士にかきやく東海は米や茶ばかりでなく茶に密柑に海の幸に國內有数の豊かな國であるがこゝにも時代の波動はあつた。静岡縣原郡小島村の二町一反歩にわたる山林あとに陸稻増産を目ざす青年團員二百名の開墾の鉞音が高く響く。だが彼らはやむにやまれぬ身近な死活の問題からたちあがつたのではない。自分の縣、自分の地方が豊かであるからとてこれを以て足れりとせず、全日本のための増産報國へいま攻勢を開始したのだ。翼賛の象徴とは誰がいつた、これは藍峰富士に凝らす皇國民の勤勞の祈りでなければならぬ。

老杉の繁みをとほして射し入る朝陽の神前に増産祈願を凝らす小島村陸稻増産開拓挺身隊

七尺にあまる根幹をさしこんでくんとおこす満身の力に小山のやうな塊りもさすがにくづれて枯枝はパツと空中に舞ひ上る下右

突き落されてゆく枯枝の塊りはピチピチと音を立て、折れくだけながら雪だるまのやうにだん／＼嵩を増してゆく

富士の裾野を掘りかへせ

静岡縣 小島村

戦争は最大の消費者であるといはれる。如何なる國家においても戦争をつづけることと食糧を確保することは不可分の関係のものであつて、第一次歐洲戦争の例を見ても戦闘では勝利を得たドイツが最後に敗者の立場に置かれた重大な原因の一つはやはり食糧問題であつた

『腹が減つては戦は出来ぬ』といふ古語は今でも生きた戒である。殊に戦ひながら建設

をつづけてゐるわが國は食糧問題で行き詰ることのないやうに米でも麥でも魚でもできるだけ多くを生産しなければならぬ。それは農山漁民に課せられた陸域奉公の使命であるが、同時にこの基礎的な生産に協力し消費の節約を勵行することはまた全國民の義務でなければならぬ。われ／＼は「農は國の本である」といふ民族的信念にいまこゝろをかへるべきである





川戸江・京東

空閑池の光景



食糧増産に對する「クウカンチ」の利用を、あゝ空閑池かと早合點しないで私たちは空閑池の利用も亦大に行ひませう

こゝ東京の郊外江戸川と城東區の農漁家はこの主旨から江戸川農事實行組合協同會を作り、同地域内の空閑池を利用して養魚を行ひ食糧増産運動に協力してゐます。この地域は江戸川と荒川放水路に狹まれ河面より低い濕地帯ですが、年々膨脹する大東京の影響を受けてだん／＼發展して工場が建ち、住宅がどん／＼作られてゐます。こゝに空閑池製造の原因が潜み、年々水質のよい養魚に適した池が増してゆく。といふのは濕地であるため、これを宅地とするにはどうしても地盤を必要として、甲地を盛るためには隣接の乙地を掘つて地盤をすくふ。乙地、池といふ具合です。かうして造られた空閑池は現在十五萬坪に達してゐますが、こゝに目をつけた同協同會は昨年度以來東京府水産試験場から鯉の稚魚二萬とわかさぎの卵二十四萬粒、もちこ十八萬尾を無償で貰ひ受けて約三萬坪の空閑池に放流し時局下の魚類増産に乗り出したわけだす



東京府水産試験場から貰つた鯉の稚魚は池に放流される

鎌田小學校に隣接した池には鯉が放流され、わかさぎの卵が入れられた児童たちは「鯉より大きくなれ」と舞臺箱に附着したご飯をこの池で必ず洗ひ洗す 上下

盛り上げた宅地と出来上つた空閑池 上下

空閑池利用の計畫を進める關係者は地圖を圍んで案を練る



撮影 菊地俊吉
林忠彦

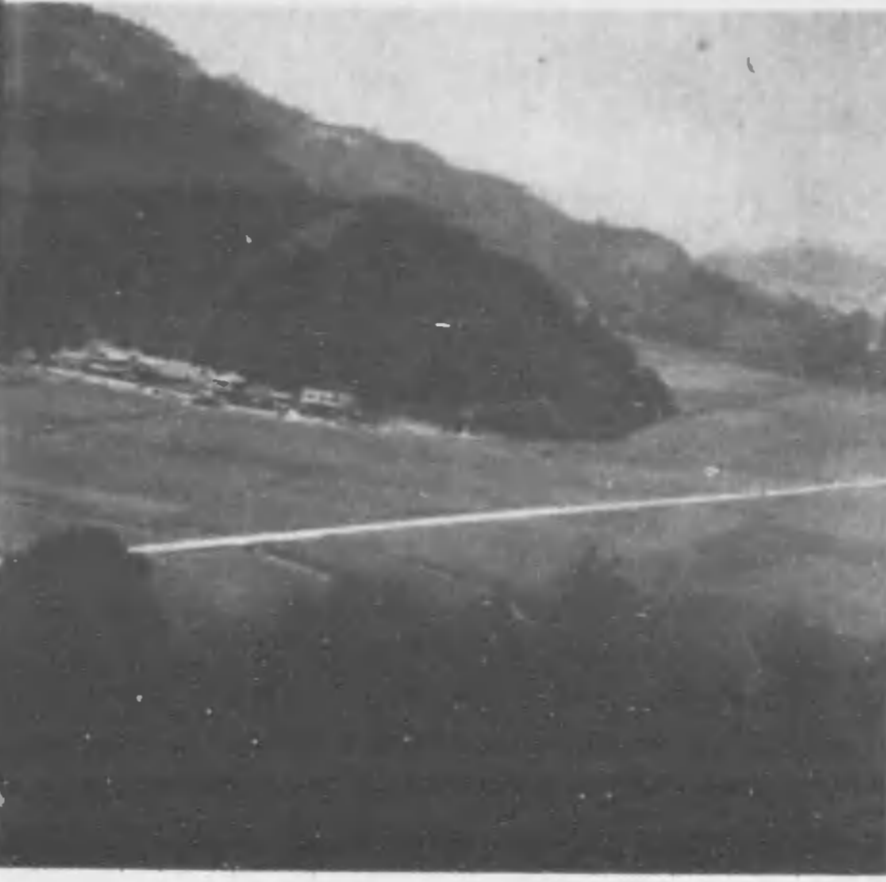
池畔にはわが朝の芽がふくらみ、魚をまく養魚池にぬるむ

泥田と美田

高知縣新居村



乾拓事業に村の婦人も総動員で参加、動勞奉仕で排水溝の構築



全国各地方の農村は、現在肥料、勞力、資材の不足などあらゆる悪條件を克服して、一踏食糧増産にたゆみない汗の翼を續けてゐる。その尊い姿の一つとして高知縣高岡郡新居村の力強い増産體制を紹介してみよう

新居村は高知市を西に五里あまり、太平洋に面した半漁、半農の戸數四百、人口二千にみえない小村である。昭和十二年、新居村が經濟更生の特別村に指定された當時は、村内の水田は僅かに八十町歩にすぎず、しかもその半分の四十町歩は過濕田で年中乾燥することのない畦を浚す泥田で、米の收穫の時舟で運搬するといふ状態であり、麥の收穫などは全く思ひも及ばなかつた。また畑も仁淀川の沖積地帯で徒らに乾燥するといふ有様で、土地資源には全く恵まれぬ状態



農繁期には共同炊事場から各戸へ食事が配給される

更生した部落の共同炊事場



村の指導者となる青年たちみそぎの行に精神を練る



膝を浚す乾拓事業前の泥田の收穫—舟を使つてゐる



八千人の動勞奉仕で完成した防滴堤



たる状態であつた

昭和十二年特別村と指定されて以來、松岡村長を中心に全村を打つて一丸とし『自給自足農村の建設』を目指して増産街道を導いてきたのである。まづ、問題の泥田を二毛作田に更生させるため全く困難な乾拓事業が始られた。次いで海岸に沿ふ沖積地帯の砂地を水田化する大事業に着手した。この二つの事業の困難さは、初めは反対者さへ産んだほどであるが、全村民の自覚と決意は遂にこれを克服してしまつた。即ち四十町歩の泥田は立派な二毛作田となり、荒れ果てた砂地からは約五十町歩の水田が新たに造られたのである。その実績をみると數年前までは毎年四、五百石の米の移入を必要とした同村が、早くも昭和十四年には八百六十石を移出し得るまでになつてゐる。また二毛作田に更生した泥田からは、昔は思ひも及ばなかつた量の麥を收穫し得るやうになつたのである。このやうに全村一致の活動は僅か數年にして報いられたのみならず、昭和十五年には小山知事から同村の乾拓事業の實情を地方長官會議の席上聞に達し奉る光榮まで擡つてゐる

また節米の實踐はまづ農村からと、全國に率先して共同炊事の斷行、砂糖の自給自足、更に共同炊事場で國民食「興亞パン」の製造など、老若男女一人の例外なく、全村あげて食糧増産に邁進してゐる新居村は全く活きた模範村といへよう

新居村全量、美しく整理された耕地と全村民の動勞奉仕で築かれた垣々たる村道

撮影 高知新聞社



女子青年團も男に負けず指導者めざし修業にはげむ



答問校學民國

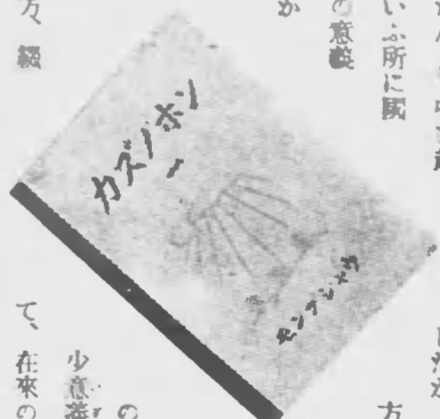
—中—

るべ學くしのた ンホノズカ

親子運動員で偉い
て、二億が済んで
から戦地の兵隊さ
んに慰問文を書い
た。その慰問文は
すぐに修身に入る
と、かういふやう
な関係である。そ
れからまた「天長
節」といふのがあ
つて修身の方では
子供が日の丸の旗
を立てる所を出
す、それから観兵
式の所が出て来
る。それが國語の
方では日の丸の旗
を出すと共に神社
を参拜する、或は
は兵隊のこの旗
似をして遊ぶとい
ふやうなものがある。しかしこれは
修身と國語の関係で、単に修
身と手を結ぶのみでなく、理科との
関係、或は藝術科との関係、殊に
國語の讀文といふものは主として藝
術科と連絡する。それから自然観察
も國語の上で観察がなくては行け
ず、またそれが綴り方にもついで
題にもなるといふことになる。

自由な生活方をさせてそれを綴り
方にもついでといふゆき方とある
と思ふ。綴り方、書き方も勿論讀方
の中に含まれてしまふ、つまり「ヨミ
カタ」に即してやる。結局國語は渾
然たる一體になるのです。時間は
多少分けてみない連絡を取る。
更に國語の中にでてるやうなこ
とから「暗示」を受けて綴り方を
やらすといふやうなこともあるの
です。

カズノホンはかうして
てきた
問 次に理科で、算数と理科を結
びつけた種といいますか、その必
要についてのお話を
藤野 さつきから教科を統合したと
か結びつけたとかいふ言葉があり
ましたが、その考へ方は全然間違つ
てゐるのです。結びつけたのやうな
くて新しく教科、科目が再編成さ
れたといふふうにお考へ下さらない
と工合が悪いのです。決して今まで
の十三の科目を考へておいてそれを
括りつけたのやうに考へません
従つて理科でも同じやうに数
學、自然科学の初歩の算數、理科を
なんとかしてくつつけようといふの
で理科ができたのでなく、前
からお話があつたやうに物事を正し
く見考へ、扱ふといふ能力を得さ
せ實際生活に行動となつて働いてゆ
く。さうして物事の筋道を見つけて、
それを導へ、それに循ひ、更に新ら
たなものを創造してゆく。さうして
國運発展の實を擧げる。さういふ修
練をするのが理科である。結局國
民學校全體の學問の道の修練とい
ふものの一つの相を扱へたもので
ある。即ち、皇國の道の修練といふ
全一的なものをいろいろ遠つた方面
から修練させてゆくその一つが理科
科なのです。さういふ理科を更に



カズノホニ
カズノホニ

融け合つた修身と國語
問 今度の教科で國民科の修身と國
語がどういふよきよきに融け合つてゐ
るのかを質問を一つ
井上 修身と國語とは國民的自覺情
念を培ふといふ點では一體で、しか
も修身は人のふむべき道の表側、國
語は感情を燃らし心身の裏側とな
る。例へば「日曜日の朝」といふ子供
の生活の文章が國語の中にでてる
。それは興亞奉公日の朝ですが、

ふやうなものがある。しかしこれは
唯修身と國語の関係で、単に修
身と手を結ぶのみでなく、理科との
関係、或は藝術科との関係、殊に
國語の讀文といふものは主として藝
術科と連絡する。それから自然観察
も國語の上で観察がなくては行け
ず、またそれが綴り方にもついで
題にもなるといふことになる。

井上 要意としては四つの形に分け
るのでありますが、しかし今度は實際とし
ては話の方といふのは教則にも特に
時間を設けてしるべきではない。
むしろ時間を設けないでそれといつ
てある。結局これは實際の問題で
あると思ふ。一方において讀方に即
して話の方をする。子供の言語に
關心を持たず讀み方から話の方へ
ゆくといふやうな進み方と、一方

理科の習字になるのです
習字を通して國民精神を鍛練する
といふやうな修練の意味と、藝術的
な美といふことを見なければならぬ
ので藝術科に入れた。書き方は國語
の一部分で専ら書寫能力を高める。
或はは文字の記憶のためにやる。或
はは本を讀む一方、書いて本を理解
するといふことが非常に理解し易
い。本來文章は書いて見ると一層よ
く分る。つまり書取りといつたもの
が今度の書き方です

第三の點は、自然物を使つたりし
て玩具を作らせる。例へば「飛翔水
鏡砲、家船」などを作らせる。さうい
ふ遊びを通して、工夫しながら物を
創造し、作り上げてゆく、といふ修
練ができる。物を造ることの喜びを
味はせることは、非常に大切で、そ
れによつて物を大切にすることも身
についてきます。生産擴大、物質愛
護もかういふ所から考へてゆかなく
てはならないと思ひます

具體化し、具現してゆかうといふ時
には組織を立てなくてはならない。
そこに自然の理法といふものを中心
において組織を建ててゆかうといふ
面と、數、量、空間を中心に見て修
練をやらうといふ組織との二
つの組織を、理科の組織として持
たしたのが理科、算數です。勿論は
つきり分けられるものではないが、
物事を正しく見考へ、扱ふとい
ふ時に算數的なものと、理科的なも
のに分けられるのではないかと、大
體のめやすをそこにおいてやつてゆ
かう。かういふ點から算數、理科
が新しく設けられたのでありま
す。それが今までの算數と理科とに
或る程度近づいたものであることは
確かであり、その根本の考へ方、方
に違ひがあるといふ點は強考へて
おいて置かねばいかぬと思ひます

程度に分けて數、算數間的な見方を
するものを算數の方に入れ、物の屬
性を極め、實質の姿を顯へ、その中
にある筋道を見いださうといふ方を理
科の方にいれて組織を作つてゆく
のです。だから始めのうちはこの二
つの關係がはつきりしないのです。
小さい子供は物に對しては數、算數
間的にはつきりしないから始めの中
には非常に未分化的といひます。さ
ういふ見方をすると、そこを捉へて
算數、算數の始めのうちはさうい
ふ年の極、始めのうちはさういふ
と算數があり、算數、算數の感
に對して見考へてゆくといふ點を
見る。それから物の考へ方でも同様
で、論理的に物を考へてゆくといふ
やうなことが發達して来るのです
から物に即して考へてゆく。さうい
ふ即物的な考へ方、一方は算數の方と理科
と強に考へる考へない。物を扱ふに
しても同様のことがいへる

兒童はどう科するか
問 今度理科の一年生からさうい
ふ自然の觀察といふものを考へたり
なる。それをさういふ具體的に、例
へばさういふことを通じてさういふ
科學的なことを小さい子供に教へて
ゆく。實際の一寸お話を聞きたい
と思ひます

相撲をやらせて、どうすれば勝てる
かと工夫すれば、草の頭の曲つた
ころによく注意して見る必要が自然
に生じ、物を見る眼が自づと養はれ
る。さういふふうにして遊びを通し
て自然を見る。その際には春の氣分
を味はせ、季節の感覺を養ふことが
大切で、つまり「情緒」などと切り離さ
ないで扱つてゆく。これが第一です
第二は、動物の飼育栽培をさせ
るといふこと。これは入りたての子
供には一寸無理なやうですが、でき
る範囲内でやらせてゆく。さうする
と、生命を愛するといふ精神が養
はれる。これは非常に大事な事柄で、
將來農業などをやるにしても、天地
の生育に參するといふやうな心持、
つまり、生命愛育の心が基になりま
す。それには自分の手際にかけて飼
つたり、植ふたりしなければなら
ぬ。さういふことは小さい時、つま
り餘り理知的な方面が分離して發達
してゐない頃からやる。さうすると
最もよく子供が伸びてゆく。自分で
飼つたり、自分で植ふたりするのだ
から、それがどうなるだらうかと思
つて、見るといつても見考へにはを
られない。そこで動物の習性にして
は、植物の形體にしても、さあ見考
へるといへば、さういふやうに見ざるを
得ないやうになつてくる。これがあ
り、さういふ姿を最も自然に捉ま
る。さういふ姿を最も自然に捉ま
る。さういふ姿を最も自然に捉ま

文部省
清水虎雄
櫻井 役
井上 紘
藤野直道
角南元一

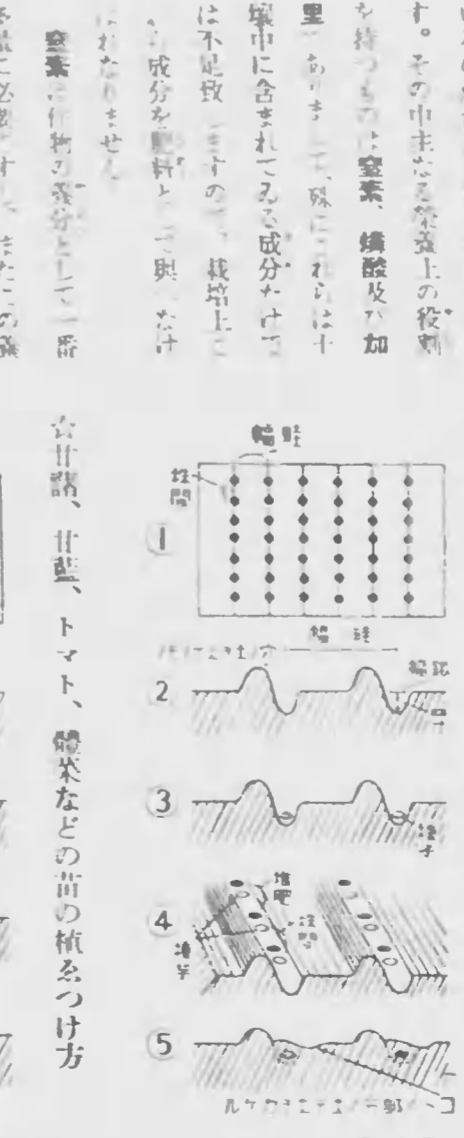


素人栽培のつこ

知つておかう

時局下食糧確保が叫ばれる... 都市は決して農作物に過する... 農作物栽培と場所

農作物栽培と場所... 都市は決して農作物に過する... 農作物栽培と場所



農作物と病蟲害... 農作物には私たちが同じや... 農作物と病蟲害

作物と肥料

以上の養分はいかに肥料に... 作物と肥料

農作物と病蟲害... 農作物には私たちが同じや... 農作物と病蟲害

Table with columns for crop names (e.g., 甘藷, 芋, 胡瓜), soil types, and cultivation details like sowing time and harvest period.

Table with columns for crop names (e.g., 甘藷, 芋, 胡瓜), soil types, and cultivation details like sowing time and harvest period.



文部省推薦の 映畫と圖書

映畫

劇作 曉の進發 七巻

この映畫は、現地へ向ふ部隊が内地での最後の演習風景を描いたもので、村の民家でそれ／＼兵士の真心こめてもてなす話柄が情感深く表現されてゐる。演出技術上に細かい注意が行届いて好ましい作品である。

文化映畫 子供に遊び場を

この映畫は、貧窮と非衛生のうちに放任されてゐる孤児の子供たちの生活を描きつゝ、これらの子供たちに「よき遊び場」とよき遊び場を與へよと説いた映畫である。また描き足りない悩みはあるが、健全に育て上げべき子供たちへの配慮と施設とに對し共感を喚び起す明るい作品である。

劇作 ほかヘリの塔 十二巻

この映畫は、本來困難な特殊児童の教化問題を扱ひ、彼らが指導されて自らの野望に光明を見出してゆく過程を描いたもので、児童の霊魂的な生活倫理を克明に掘り下げた異色ある映畫である。

文化映畫 蘭印探訪記 八巻

この映畫は、蘭領印度の風物を紹介

介したもので、同地に對する一般國民の認識を深めることに意義深いものがある。

文化映畫 空の少年兵 四巻

海の荒鷲として國民が限らなき信頼と感謝の念を寄せてゐる海軍少年航空兵が、その若々しい精神と身体、技術などすべてを空の護りに捧げるため、確乎たる軍人精神のもとに規律正しい訓練を終へ、榮ある東立の日に至るまでを、寫實的に描いたもので、國民をして帝國海軍への誇りの念をわき起さしめるものである。

文化映畫 スキー初等中級篇 一巻

冬季スポーツとして一般國民に親しまれてゐるスキー技術を、慎重な撮影によつて平易に解説し、スキーに對する正しい認識を深めるためのものである。

劇作 母代 九巻

この映畫は、過去に過失を持つ若い女看守長が女囚に生れた子供の母代となつて養育する物語である。今日の行刑精神を正しく把握してゐると共に、主題の取扱ひ方も巧みであ

り、特に女看守長の誠實な心を描いて観る者に深い感銘を與へるものがある。

劇作 戸田家の兄妹 十一巻

この映畫は或る富裕な家庭の兄妹たちとその母との間にわたる生活倫理を扱つたものである。熱練した演出技術は、このやゝもすれば低俗におおひり易いテーマに美しい表現を與へ、娯樂映畫として成功したものである。

圖書

吉田松陰 石川謙共著 吉田松陰生誕百周年の時に際會して、吉田の動盪の志士と交つて、時勢を認識し、また松下村塾を開いて、學問人格をもつて青少年を訓育し、遂に安政の大獄に坐して一生を終つた、その短い三十年の生涯の事績を極めて興味深く述べてゐる。一般國民特に青年にお

奨めたい。四百二十頁 定価六〇

☆ナチス女性の生活(アン・マリ

イ・キーファー著) これはドイツ

大使夫人秘書官等をとつてナチス

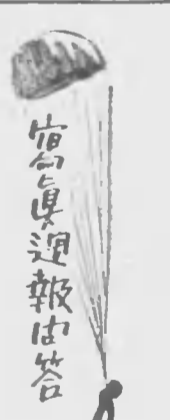
女性の生活を紹介した本であつて、

花嫁學校・隣組など數十項目に分けてドイツ女性の日常活動を

描いてゐる。非常時下、わが國一般婦人にお奨めしたい良書である。

(四六六一六二〇 定価二二〇) 東京市神田區錦町三丁目二二番

東京市神田區錦町三丁目二二番



宮内省迎報部答

〔問〕よくラテンアメリカと言ひますが、どの地域を言ふのでせう (和歌山 田島)

〔答〕ラテンアメリカとは日本で中南米と呼んでゐる地域つまり北はメキシコから南はアルゼンティンに至る地域のことで、なぜラテンアメリカと呼ばれるかといへば、それはラテン系人種即ちスペイン人、ポルトガル人等が植民して、後獨立國家をつくり、現在でも比較的國家の主要な構成分子となつてゐる國々が大部分だからです。

〔問〕英米の經濟戰法である資金の凍結案とはいかなるものですか、その對應策は (茨城 市野)

〔答〕資金凍結案といふのは、國內にある外國の資金の移動を抑へる政策のことです。爲替管理もその方法の一つです。最近問題になつてゐるアメリカの資金凍結案といふのは、歐洲戰爭以來、艦船勢力の及

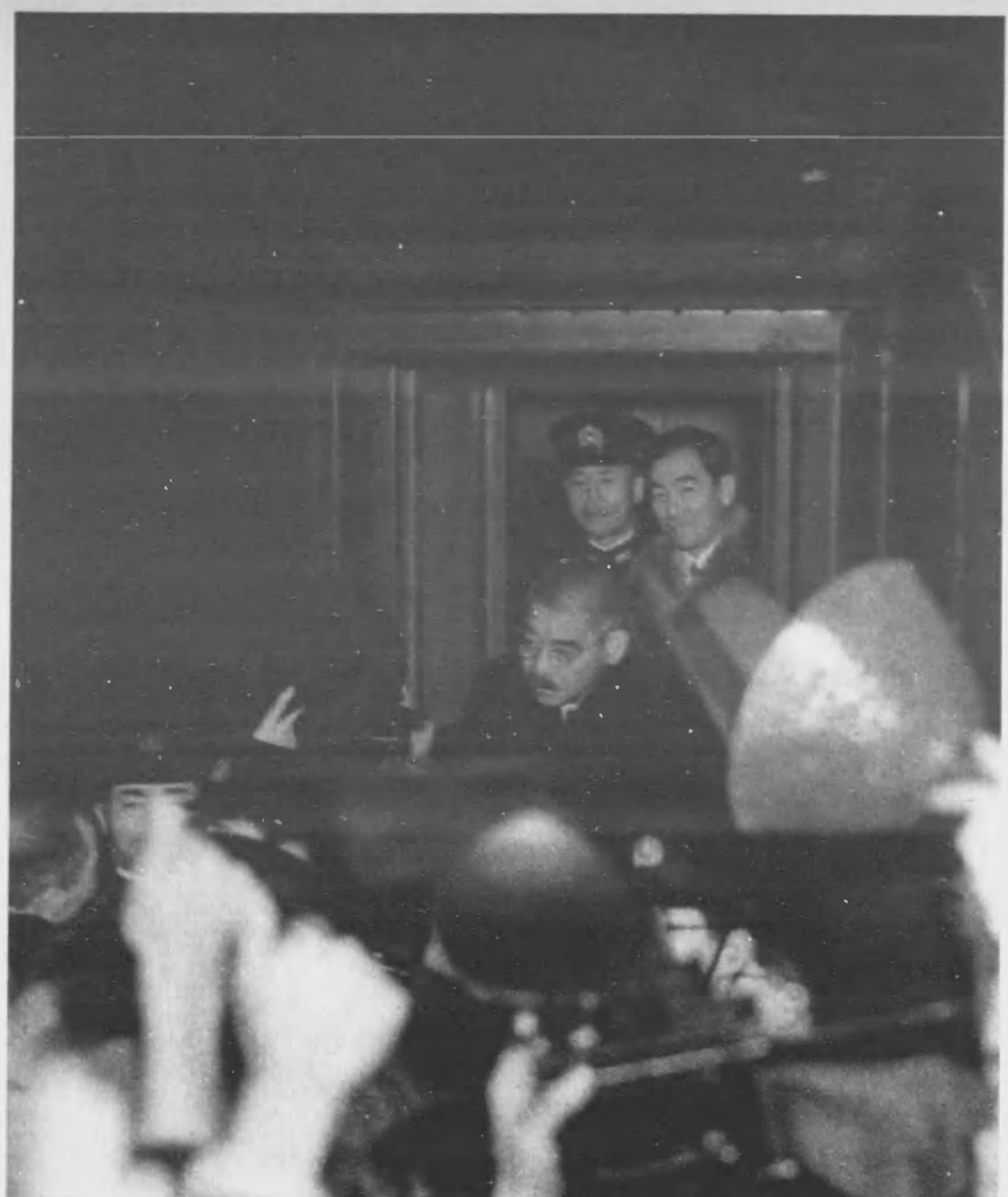
んだ歐洲諸國の在米資金の移動を制限してゐるのです。現在この適用を受けてゐる國は、ノルウェー、デンマーク、オランダ、ベルギー、フランス(屬領をも含む)等であり、その目的はアメリカがこれらの國々に従來資金を持つてゐるので、その擔保をなくさないためだといふことになつてをりますが、この法令をこれらの國以外にまで廣める危険があるので、油断は禁物です。

その對應策は、秘密作戦ですから發表できませんが、要點は、本邦經濟の英米依存を脱却するにあるわけ

Relay 計算尺

定例 ¥ 3.50 より ★カタログ無代送呈

東京・銀座 理研光學工業株式会社 計算尺部 電話・代表銀座 5686



歐州と語ら 松岡外務大臣發出す

昨秋九月二十七日の三國同盟締結以來期待されてゐた松岡外務大臣の渡歐は、今回タイ・佛印國境紛争會議の圓滿成立を機にいよいよ實現し、松岡外務大臣は三月十二日夜東京發つた途についた。

現職外務大臣の海外出張は日露講和會議の際當時の小村壽太郎外務大臣渡米以來のことであるが、松岡外務大臣の今回の渡歐は、伊兩國の首腦者と親しく會談し、序に歐洲情勢の觀察をするためである。

東京發出發の松岡外務大臣

おつての馬場もあいに

東京・目黒



たとへ猫の類ほどの空地でも食糧増産に参加させようとする運動は都會でも急速な擴がりをみせてゐるが、都市における空地で比較的耕作規模の大きいものに東京市の目黒元競馬場の約一萬坪にわたる開墾地がある

熊笹一萬坪の荒原が、現在のやうに一變して黒々と肥沃な土の香をたゞよわせるまでになつたのは、あの空地は勿體ないぢやないかと歸還勇士が振つた一畝に、あの人があるなら私たちも協力しよう

と奮然地元目黒三丁目四丁目約一千名の町民と學生義勇軍が、この空地の打ち起し作業に参加した汗の結晶であつた

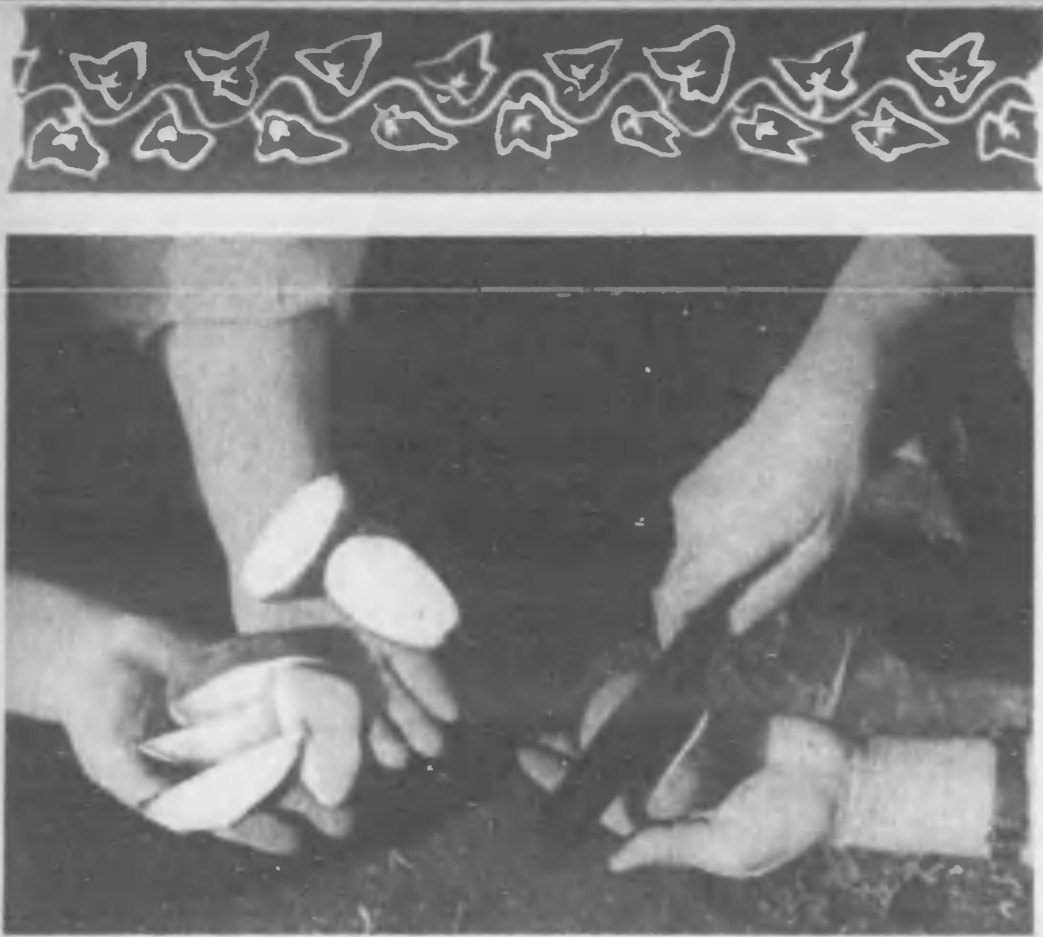
立派な耕作地に還元したこの開墾地にはこのほど數日に亘つて隣組群が出勤し、目黒開墾會の統制のもとに東京市農漁課から機通を受けた馬鈴薯の植付が行はれた

目黒元競馬場跡の開墾地

種薯がきた！ 植ま方を知らぬ人たちのために町の古老は種薯の切り方から植まつけを指導する



種薯の切り方は芽に添つて縦に切る



奇天井の下に打ちひろげたひろげの圓座



忙しい馬鈴薯の植まつけ



鴨巣・京東 うせまり配

に々家を養榮

家庭榮養食献立表

日二月	日一月二	日八月二	日月	献立表	
二日	一日	八日	月	朝	立
二日	一日	八日	月	晝	表
二日	一日	八日	月	夕	料
二日	一日	八日	月	食品	明
二日	一日	八日	月	野菜	類
二日	一日	八日	月	豆類	類
二日	一日	八日	月	肉類	類
二日	一日	八日	月	魚類	類

大根半分あれば足りる場合でも八百屋さんでは丸々一本買はなければならぬし、吸物のあしらひに少々三つ葉があれば足りる場合でも、やはり一把とまとめて買ければ大抵は賣つてくれません。一片の食糧さへ大切なきと、生じる無駄は何とかならないものでせうか。又、朝は何にしよう、晩は何にしようかといふ毎日の献立に頭を悩ます必要がなくなり、あちらの八百屋さん、こちらの魚屋さんと買ひ出しに歩く時間を節約してそれだけの時間を戦時下の主婦がしなければならない方面へ向けることができればどんなにいいでせう。

この解決法は——これには共同炊事が行はれてゐる所があり、中効果をあげてゐますが、商店の多い都市地では同じ時間に同時に食事をするわけに行かない場合があり、一律に共同炊事を強行すると無理が生じます。こゝに考へられたのが、家庭食事を合理化した『家庭榮養食献立配給』といふやり方です。これは既に東京でも数ヶ所で行なはれてゐますが、こゝに東京市豊島區鴨巣町地蔵通商店街商業組合の配給所を御紹介しましょう。

この方法はまづ『町内のお家』たる配給場から一週間分の献立表を各家庭へ配り、注文を受けます。各家庭から幾人分といふ注文をうけると、これをまとめて朝のうちに配給所専属の榮養士が材料を購入し、午後までに各家庭から持参の籠に分配してきます。各家庭の主婦は時間が来ると配給所へ集つて材料の入つたその籠を受

取つてくれればよいわけですが、もつともこの方法は御飯も御惣菜も銘々のお家所で料理をしなければなりません、それだけに各家庭の嗜好に應じた調味料がほしい便利があります。

食糧確保の叫ばれてゐる折から、合理的で経済的、しかも榮養價值満点といふこの方法を町會や隣組、また商業組合などでやつてみてはいかゞでせう。

配給所の榮養士さんは時々暇を見ては各お家所へ指導訪問をします『今日の私の説明わかりましたか知ら——』

配給所の榮養士さんは材料購入にでかけます『この白菜は上等ですが——』

買出したままはなくても、お家所の用意はこれでもうすんだわけ、料理の方法を習つて夕食の調製を頭に通して



一人一日の献立材料費は二十二銭、今日の五人分一圓十銭、明日は主人が旅行しますので四人分お願ひします。



すつかり揃つた材料は百軒餘りもある籠に分けて配るのです『今夜の牛鍋おいしうね』



聖日配給所の榮養士さんは材料購入にでかけます『この白菜は上等ですが——』



買出したままはなくても、お家所の用意はこれでもうすんだわけ、料理の方法を習つて夕食の調製を頭に通して



家庭榮養食献立配給場
後援 指導



満洲の大地に呼ぶべき

周家營開拓團

周家營開拓團は十一部落から成り現在總戸數一五二、總人口三五〇で近く開拓民を迎へる筈である。注意を置くことは總人口のうち純農出身は僅かに約二割、他はゆるゆる開拓民の人々である。しかし入植以來何れも急進し土の人の人となつて、開拓民の如く成功を示してゐる。そして今は、伐採、築堤、製材、製糖、煉瓦造り、炭づくり、農産物加工と冬の仕事を大前である。右(左)は第三部落の全景。煉瓦造の頭太な造り。屋内は温突やベチカを備へて冬を知らぬ暖かさ。(右)「チョック」と曳馬を繋ぎ通す溝ももうすつかり板についた。満地に生つた羊草を運ぶのも大切な冬の仕事の一つ。羊草は家畜の飼料に製糖業に製糖の材料に必要不可欠なものである。



満洲生れの豊坊(満二歳)の健かな成育ぶり。生れよ殖せよの聲は開拓村からといひたいほど、家族を抱いてから僅か二年餘りの間に、主婦百人に對し三十四人の赤ちゃんと誕生、しかも死亡率は至つて低い。村にはチャンと産婆さんもゐる。

鏡をかついで今日は休日だ。さいさきよく一羽の雉を射止めたがこれでは物足らぬと、目指すは向ふの山である。それもその筈、五里乃至十里の山に入れば、熊、狼、虎などの豪奢な珍禽までが豊富に待つてゐる。



零下十五度乃至三十五度の寒さは防寒帽に軽く暖かい、襟々たる陽光の下に裸々として子供たちは冬を愉しむ。雪といつてもせいぜい三寸位まで。間もなくお兄ちゃんらが學校から歸つてきて賑やかなスケートが始まることだらう。

内地の人に負けてはならぬと、月々の編組常會には活潑な開拓建設の話がはびこる。過去の苦は語らず、常に明日へ明日への希望の熱火は燃えて開拓のさ中に村人たちの顔はほてる。



家を完成し、今ちやうど満三年目の冬を越さうとしてゐる。製材場、製米場、煉瓦場、畜舎、農産物加工所、假校舎等も出来た。かくて建設の段階は終り、今までの建主耕従の方針は逆に耕主建従の本格的な仕事に變らうとし、やがてこの四月からは團は各部落に分散することとなり、團員の張りきり方はしやが上にも変る。

周家營開拓團員の自慢の點は、開拓地区にある。平地あり、山あり、丘あり、その上三方が川で圍まれてゐる。従つて複雑な地形を利用して、農林業は勿論、果樹栽培、養禽、養魚、養蜂に至るまで極めて多角的な農業を採つてゐることである。しかし何といつても團員たちが今年こそと腕を揮つてゐるのは、地區の兩端にある二百五十町歩の濕地に溝を掘り、排水と灌漑の便をはかつて、いよ／＼水田の開発にとりかゝることである。しかも團員達のどの顔にも『見込は十分ある、もう大丈夫だ』との明るい希望が満ち溢れ、來る春が待たれてゐる。

やがて四月五月となり、百花野山に鶯を聴ひだすと共に、團の人々の男々しい土の仕事も再び始まることだらう。



今年は何年にもない暖さのため、大事な夏の根張りが悪く、この分では今年の収穫が思ひやられる、といふ話を聞いた大分市の組さん達四百名は、二月一日の興亞奉公日、身を切る由布風をもとませず、マスク、モンペに身を固めてなれない寒暑を懸命にやりました。この日早朝春日神社の社前で増産祈願を行ふと、妻は必ず横から睡んで下さいとの注意を受けて異国海洋寄りの畑地二十町歩の歩みを歩かされた。この歩みつけ作業で五畝に二十町の増産は確実だとのことから二十町歩では大した増産になるわけだ。



増産の活振策

熊本県

努力の七〇〇〇足

熊本県

熊本県上益城郡木山町は、全国的に増産運動の展開されてある食糧増産運動の聲に呼んで全戸の半ばを占める商家の若でもこの際増産に一役買はねば相済まぬと町内会で相談一決、各戸から一名以上を出役と定めて、町附近の荒廢地七反歩を無償で借り入れ、三日間で、立派な畑地に仕上げました。これ、今年の時局の難境からいふ（甘藷を主として）アルコールの原料に供出する外、一部に野菜類を植まつけ、二百五十戸町家の自給自足確立とばかり、非常な張り切り方です。

戦七間、横五間の部落の共同作業場。天井一杯から土間の壁面まで、ギョウブリ吊るされてある草履、草鞋の数はザット七〇〇〇〇〇足に達する。草履の製造は村内外青年團員十七名が夜業の一部に担担した一年間の努力の結果です。團員一人一年間に草履一〇〇〇〇〇足、草鞋一〇〇〇〇〇足、足絆（子供の通学用と作業用）二〇〇〇〇〇足を作ることが合はせられ、毎年一人の関連もなく見事に実行されておますが、年々この製品の一部分を同部落出身の出征兵士の慰問代に、或いは作業場の電燈代、修繕費、雑費、書籍の購入費に充てられておます。

鹽は軍需品です 大切に使用ひませう

私共の食卓に一日も缺く事の出来ない食鹽は、又爆薬等の原料として、戦時下の日本には無くてはならない重要な物資の一つになって居ります。今迄は何の氣もなく使つて居た鹽が、此の様な大切な役割を持つてゐるのを知つたならば、臺所経済を預る主婦の肩にかゝる責任も亦重大と言はなければならぬでせう。

鹽には内地鹽と輸移入鹽がありますが、一般家庭で使はれてゐるのは多く内地鹽であつて、工業用には主に輸移入鹽が使はれます。

鹽は品質によつて、内地鹽には上等並等、輸移入鹽には一等から四等迄の區分があります。

内地鹽は皆御承知の様に鹽田で鹽水を採り煮つめて結晶をさせる方法を探りますが、輸移入鹽は簡單な天日製法を用ひて居ります。それは鹽田に直接海水を導いて太陽熱と風の力で水分を蒸發させて鹽を作る方法です。

鹽の生産量は天候に支配されることが多いのでありますが、輸移入鹽は外地から輸移入するのでありますが、然し關係其他で思ふ様に輸移入が出来ない事があります。然し鹽は生活必需品でありますから之が生産量の確保は絶対に必要であります。此の事については大藏省專賣局で萬全を期して居ります。

併し何不自由なく間に合ふからと言つて無駄や放縱の使ひ方は絶対に慎まなければなりません。殊に一家經濟を雙層に擔つて居らるゝ主婦は些細なものについても經濟的な使ひ方を常に研究して置くべきではないでせうか。必要以上に使はない事、鹽の中に濡れた手を入れない事、使つた後の鹽壺の蓋を忘れない事等ほんの些細な所に注意を配つて臺所から物資の節約愛護の國策に添つて進むべきであります。

之がやがては百二十億貯蓄の推進力となる事に思ひを致しますと益々臺所を預る主婦の責任の重い事が判ります。

資源愛護のため

樟腦の重要性に就て

天然樟腦は我が東亞のみの天恵であつて、其の用途は極めて廣く、衣類防虫用等は既にすべての人の熟知する處であるが、事實はそれ以外に頗る重要性の有る醫藥用、セルロイド工業用等がある。

殊に事變以來それ等の製品は、或は軍用、或は輸出資材となり、又鐵やゴム、革等の代用品としての役割を持つ様になり、中には代用品の域を脱し本來の性質そのものを尊重せられるものもある様になつた。

ところで需要の増加に對する供給は全てのもの同様に相當逼迫を來し、政府に於ても極力之が増産に留意してゐる次第である。

然し乍ら樟腦に限らず物の増産を圖る一方之が使用を出來得る限り抑制すること及び再使用可能のものは之を繰返し用ふるると云ふ方法は消極的ながら増産の目的に副ふものと考へられる。

此の意味に於て樟腦を最も多く使用しつゝ、あるセルロイドは、再使用に好適のものであつて、如何なるセルロイドの屑でも簡單なる操作により新品同様となるものであるから、各家庭に於て死蔵又は廢棄されるセルロイドを機會ある毎に工場へ回收する事とすれば其の效果は蓋し相當なるものありと思料される。

即ちそれによつて再び立派な歯ブラシの柄となり、鐵の代りにもなるのである。

更にセルロイドは樟腦の外に綿、アルコール、硝酸等の時局下重要原料品を使用するものであるから、それ等のもの、方面から云つても大切な事である。

近く愛國児童協會で各家庭から兒童の手を通じ歯ブラシの柄を回收するもの話であるが、極めて時宜に適當なものとして考へると同時に歯ブラシのみならずあらゆる他のセルロイド製品も積極的に回収を圖りたいものである。



復習室

- 本報からあなたは何を學んだでせうか？
- 1 こんどのタイ、佛印講和會議によつてタイが佛印から返還をうけたのは大體どこですか？ (11頁)
 - 2 乾拓事業とは、湿地の水を排して田や畑にする事業？乾燥した荒地に水を引いて水田を作る事業？ 海南島の海岸で行はれてゐる製鹽事業？ (7頁)
 - 3 農作物の栽培地としてかね具へてゐなければならぬ三つの條件は？ (14頁)
 - 4 「クワンチ」で鯉や鮒が育つてゐます。片假名を漢字に改めて下さい (4頁)
 - 5 在來の「習字」は國民學校の「書き方」と同じですか？ (12頁)
 - 6 わが國全體では一ヶ月に大體どれ位の米がいらぬのでせう？ (9頁)
 - 7 加里肥料を手近か得るにはどうすればいいでせう？ (14頁)
 - 8 馬鈴薯を植ゑるとき種薯の切り方は？ (19頁)
 - 9 ムンリアとは？ ムンリアニ首相の敬稱？ イタリア青年團の名？ イタリア人が荒地に建設した都會の名？ (8頁)
 - 10 胡瓜やトマトなどを採る作物と、馬鈴薯や大根などの根を採る作物に殊に重要な肥料は？ (14頁)
- 一間十點としてあなたは備忘てしたか？

寫眞週報(精輯版)

昭和十六年三月九日印刷発行

清 報 局

東京市神田区

内閣印刷局

東京市神田区大手町

印刷部

東京市神田区

九ノ内三ノ一二

一部 十 錢

▲郵約配送希望の方は一都十錢(外國郵便に依る地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい。

▲特大號の場合は其の郵費御持込より差額を申受けます。

内閣印刷局發行課

電話九ノ内(29)三五二一九

郵便東京一九〇〇〇

全国各地官報販賣所

東都書報株式會社

各書店・肆賣店

各新聞販賣店

寫眞材料店

写真週報 昭和十三年二月十二日 第三版 電球新製法 昭和十二年 二月十九日發行 (第一回大衆日發行) 第百二十八號

★ 遠家族の心になつて 身になつて ★

電球にも新体制

新發賣 燭光制電球



二重標示



二重標示の特長

電球の頭部に明るさを
何燭光(C)、消費電力
何ワット(W)と二重
標示してありますから
明るさの選定と消費電
力の經濟が一目で解り
ます。



新マツダランプ

東京芝浦電氣株式会社 マツダ支社

内閣印刷局印刷發行

(社情報選) A4格紙定製はさき大の書本